

(別紙)

提出書類の区分	<input type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス排出抑制計画書 (変更)				
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	大阪市西区江戸堀一丁目3番15号				
氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	富士チタン工業株式会社 代表取締役 加藤 智洋				
主たる業種	その他無機化学工業製品製造業				
事業概要	セラミックコンデンサー用原料の製造				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> みやざき県民の住みよい環境の保全等に関する条例施行規則第9条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 同規則第9条第4号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の者				
計画期間	令和2年度～令和4年度				
排出状況及び目標	目標設定の方法	基準年度の実績① (令和元)年度	前年度の実績 ()年度	目標年度② (4)年度	増減率 (②-①)/①×100
	総排出量	12,693 t-CO ₂	t-CO ₂	17,140 t-CO ₂	35.0 %
	原単位の排出量	3.42 t-CO ₂	t-CO ₂	3.27 t-CO ₂	▲4.39 %
原単位の考え方	温室効果ガス排出量/生産量				
目標達成のための基本方針	省エネルギーを推進することにより、温室効果ガス排出を削減する。				
目標達成のための推進体制	省エネルギー推進委員会				
目標達成のための措置の内容	・ドライヤーの吸気予熱によるLPG削減 ・純水熱交後の廃棄蒸気ドレン回収 ・工業用水ポンプ更新による電力削減 ・スポットクーラー冷気配管保温				
特記事項	令和元年度より延岡工場の排出量を追加した。				

- 備考 1 「基準年度」は、原則として計画書を提出する年度の前年度とすること。ただし、提出者が別に基準となる年度を定めている場合は、当該年度を基準年度とすることができる。
- 2 提出者の計画が温室効果ガス排出量削減に向けた取組であるにもかかわらず、事業拡大等の理由により温室効果ガス排出量が増加する見込みである場合は、原単位による目標を設定することができる。この場合、「原単位の排出量」とは、「総排出量」を当該年度の生産数量、建物延床面積その他の温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値で除して算出した値とし、併せて「原単位の考え方」についても記入すること。